

Step2 チェックポイントを考えます。

実際に地域を歩いてみる前に、どんな場所が危険なのかを考えてメモに書きます。そういう場所が近くにはないか、チェックしながら歩きます。チェックする場所は次のようなところですよ。

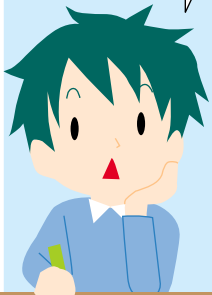
チェックする場所

★ 犯罪が起きそうな場所 (入りやすく見えにくい場所)

- (例)
- ・木がうっそうとして見通しの悪い公園
 - ・人通りが少ない場所
 - ・高く長い壁が続く人目のない道
 - ・路上駐車が多い道
 - ・街灯の少ない暗い道
 - ・落書きがあつたり、ゴミが散らかっている場所
 - ・警備員のいない駐車場や駐輪場
 - ・荒れた空き家や店舗
 - ・「チカン注意」「ひったくり注意」などの看板があるところ など



いざという時は...



★ いざというときに逃げ込める場所

- (例)
- ・子ども110番の家や防犯連絡所
 - ・コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、病院、郵便局
 - ・学校や塾
 - ・友達や知っている人の家 など

Step3 実際に歩いて確かめます。(フィールドワーク)

町歩き用に準備した小さい地図とメモ帳とカメラを持って、親子で一緒に町を歩きます。なるべく子ども自身が危険な場所に気づくようにサポートしてください。そして、危険な場所に気づいたり、いざというときに逃げ込めそうな場所を見つけたら、地図やメモ帳に注意点を書き込み、写真を撮っていきます。写真の撮影順に番号を地図にメモしておくと、後で整理しやすくなります。

写真撮影の際は、プライバシーに配慮して、人が写らないようにしましょう。また、個人の家や車が特定できないようにしましょう。

